

資本制社会の混乱は、遠くない。

今、だれかれを批判するより、次の社会を、まとも  
に展望することが、喫緊の課題ではないのか!?  
かの、マルクスは、かなりの部分が、正しかった。  
が、今こそ、かれの誤りの部分と、大きな不足に  
ついて、論ずべきではないのか!?

ヒロシマ、ナガサキから、約10年後、日本社会に  
て、生誕をいただいた、山田<sup>まなぶ</sup>学。

資本制社会の、問題解決のため、なににも、とら  
はれず、前向きな情報を、ていねいに、拾ひ集め、  
何年も、何十年もかけ、編集し、論理整理できた。

今ここに、

〈超然の想ひ〉が、ごく自然に、創造された…

# 地球協同社会へ

[www.jomaca.join-us.jp/chikyu.pdf](http://www.jomaca.join-us.jp/chikyu.pdf)

国民国家の限界。数理哲学と物理哲学の限界。資本制生産の限界。  
今、これらの限界を理解し、規範と認識表現と生産を、修正する。  
この贈り物から、日本の、とくに民衆こそは、歴史を拓く責任を、  
自覚せよ!!

本稿は、次の4本を、この間の貴重そのものの、諸経験を踏へ、久しぶりに、全面更新い  
たしました。〈生産発達の本質〉(2015年6月「店頭」画面) 〈調和社会へ〉(2006年6月「理  
念集」画面) 「JOMONあかのみといふ組織」(2014年3月 〈健康平和研究〉画面) 「幹部  
候補生募集」(2014年2月同画面)。